

資料4 年 表

海洋研究所

[1962.4~2010.3]

1958.1	日本海洋学会と日本水産学会の連名で海洋総合研究所設立について日本学術会議に建議
1958.4	日本学術会議が同研究所を設置すべきことを議決
1962.1	総長は文部大臣に海洋研究所設立についての申請書を提出
1962.4	海洋研究所が東京大学附置の全国共同利用研究所として設置
1963.6	初代淡青丸竣工
1967.3	初代白鳳丸竣工
1973.4	大槌臨海研究センター（現在の国際沿岸海洋研究センター）設置
1982.10	第2代淡青丸代船竣工
1988.5	内田海洋学術基金の設立
1989.5	第2代白鳳丸竣工
1994.6	海洋科学国際共同研究センター（現在の国際連携研究センター）設置
1995.3	第1回外部評価
2000.3	第2回外部評価
2000.4	16部門を6部門16分野に改組。海洋環境研究センター設置
2001.4	新領域創成科学研究科が海洋環境サブコース設置
2003.4	大槌臨海研究センターを国際沿岸海洋研究センターに改組
2004.4	東京大学の法人化。海洋環境研究センターを先端海洋システム研究センターに改組。淡青丸と白鳳丸が独立行政法人海洋研究開発機構へ移管
2006.4	新領域創成科学研究科の改組に伴う自然環境学専攻海洋環境学コース発足
2006.11	海洋研究連携分野（生物圏環境学）設置
2008.3	第3回外部評価
2009.3	海洋アライアンス連携分野設置
2010.3	中野キャンパスから柏キャンパスへの移転。先端海洋システム研究センター時限終了

気候システム研究センター

[1991.4~2010.3]

1989.7	文部省測地審議会の建議を通じた気候システム研究センターの設立計画
1990.12	1991年度政府予算（案）の確定により東京大学に気候システム研究センター設置の決定
1991.4	気候システム研究センターが全国共同利用施設として東京大学に設置（10年時限）。理学部7号館に仮住まい
1991.10	寄附研究部門（グローバル気候学）設置（1996年9月まで）
1992.2	第1期工事が完成。駒場リサーチキャンパスに移転
1992.3	気候モデルと気候予測に関するワークショップ（国際シンポジウム）開催。研究の方向性の検討
1992.10	第1回公開講演会「気候システムの謎をさぐる'92」を安田講堂で開催
1993.3	第2期工事完成
1997.4	寄附研究部門（グローバル気候変動学）設置（2000年3月まで）
1999.7	第1回外部評価
2001.4	気候システム研究センター（第2期）発足
2004.4	東京大学の法人化に伴う全学センターとしての位置づけ
2005.3	柏キャンパス総合研究棟へ移転
2007.12	第2回外部評価
2010.3	気候水循環研究分野設置

大気海洋研究所

[2010.4～2012.3]

- 2010.4 大気海洋研究所の発足。開所式を新棟（大気海洋研究棟）にて開催。海洋科学国際共同研究センターを国際連携研究センターに改組。地球表層圏変動研究センターと共同利用共同研究推進センターの発足
- 2010.7 東京大学大気海洋研究所設立・新研究棟竣工披露式典を大気海洋研究棟にて開催
- 2011.3 東日本大震災による国際沿岸海洋研究センターの被災。被災当日（3月11日）に災害対策本部を本所に設置
- 2011.4 本学が東日本大震災に関する救援・復興支援室を設置。同室に大槌復旧建設班（班長：本所所長）を設置
- 2011.11 東北海洋生態系調査研究船（淡青丸後継船）の建造決定
- 2012.3 「東京大学と大槌町との震災復旧及び復興に向けた連携・協力に関する協定書」調印式が大槌町にて開催
-